



# 海風

UMIKAZE

Vol. 02

Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report



Photo:片山院長 ドイツ研修にて

## Contents

- 2.3P 片山院長 ドイツ研修報告
- 4P ごあいさつ 事務長代行 浅野 陽平/御礼
- 5P みなと日記
- 6P リハビリテーション療法の紹介
- 7P 医療連携室ご案内

2014 Summer

片山院長

# ドイツ研修報告

トーマス・マンの小説『ブッデンブローク家の人々』に、主人公の一人がミュンヘンの商人と結婚してその田舎者ぶりに苦勞するくだりがあります。

6月末からのドイツ研修では、ミュンヘン近郊の温泉地にあるSchön Klinikを訪ねました。ドイツのリハビリ医療はKurと呼ばれる湯治の伝統と結びついていて、今回訪れたリハビリ病院のほとんどはBad (温泉地)にありました。田舎道を延々と走ってようやく到着。ドイツの交差点には信号がなく、サークルに数本の道が連結しているturn about方式。車が多くても少なくとも信号で止められる日本より合理的。

Schön Klinikは神経疾患の急性期からリハビリまでを1つの病院で完結してしまうシステム。ロボッ

トスーツや身体バランスの測定器などの装備のほか、神経耳鼻科も神経泌尿器科もあり、うらやましい限り。合間を見てミュンヘンの市街地観光。かつての王宮がそのまま博物館になっている。バイエルン州の郷土料理は塩分がきつく、オープン・カフェで平日の昼時でもビールを飲んでいないのは我々だけ。

フランクフルトではRHM Klinikenの病院を2か所見学。やはり温泉地にあり整形疾患が中心。バスケットボールができそうなくらい軽症の患者も入院している。糖尿病による下肢切断患者が多く、義肢・装具は簡易なものから電動アシスト付まで多種多様。自己負担がないのは、さすがに高福祉国家です。WiesbadenからHeidelbergに移動して哲学者の散歩道を散策。

夜はフランクフルトのオペラ座前のオープン・レストランでワイン三昧。ワールドカップの最中で、準々決勝でフランスに勝ったドイツ人は深夜までクラクションを鳴らして大はしゃぎ。それに乗じてタクシー料金をねぎってやりました(運転手はインド人でしたが)。



## ドイツ研修

# ALBUM

2014.6



下肢切断と装具についてのレクチャー (RHM Klinik)



Müller 院長から説明を受ける (Schön Klinik)



小型ロボットスーツ (Schön Klinik)



体軸の傾きを計測する装置 (Schön Klinik)



リハ室は各病棟にある (Schön Klinik)



**ごあいさつ**  
 事務長代行 浅野 陽平

千葉みなとりハビリテーション病院が、千葉県より120床の病床配分をいただいたのが平成24年3月の事でした。回復期リハビリテーション病床の不足地域において、1人でも多くの患者さんが在宅復帰できるよう、質の高いリハビリテーションを提供すべく、私達は新規病院の立ち上げを行って参りました。

土地を探す事から始まり、病床配分への要望、病院の建築、職員の確保…。私は、昨年9月から開設準備室にて立ち上げに携わり、多くの事を学ばせていただくことができました。当初は古野事務長と2人でプレハブ造りの開設準備室で業務を行っておりました。各方面から多くの皆様方のご支援ご協力、またご指導をいただき、平成26年4月1日に無事開院することができました。その後、開院前より近隣急性期病院様から多数の患者さんをご紹介いただき、開院より67日目の6月6日に早期満床を達成する事ができ、現在病床稼働率100%を維持しております。

現在では120人の患者さんと、200人のスタッフが勤務しており、明るく活気溢れる病院となっております。これからも、患者さんに快適な療養生活を送っていただける環境を目指して努力して参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 御礼!!

4月1日から患者さんの受け入れを開始し、おかげさまでもちまして120床満床を迎えることができました。患者さんをご紹介いただいた医療機関の皆様方、開設準備室のころより支えていただいたグループ病院の皆様方、関係機関の皆様、そして当院の運営にご理解ご協力いただいた近隣の皆様に深く感謝申し上げます。これからも千葉みなとりハビリテーション病院を何卒よろしくお願い申し上げます。



## みなと日記。

### 新入職員マナー研修 4月23日

講師にビジネスブレン社の後藤康之氏をお招きし、ワーク形式の新入職研修を行いました。

対人関係能力、対自己能力、対課題力を身につけないと、せっかくの専門知識や技能が活かされないということや、ご利用者の満足のためには5つのサービスマインド（①親しみの心②理解・共感する心③お役に立つ心④謙虚な心⑤感謝する心）が必要で、相手からも見えるかたちで伝えていくことが大切であることを説明いただきました。

社会人としてのマナーだけではなく、患者さんとご家族の立場に立って業務を行う姿勢を学ばせていただく事ができました。



### 院内講演会 5月30日

グループ病院である小金井リハビリテーション病院の金隆志院長より「整形外科疾患のリハのすすめ方」、川内基裕副院長より「ノルディックウォーク」についてご講演いただきました。

大腿骨頸部骨折の事例では骨折の分類と治療方法、さらに診察方法を実技にて解説いただき、ノルディックウォークでは職員全員ウォーキングポールでの歩行を体験し、患者さんへの適用が大いに有効であると実感しました。

この講演で学ばせていただいた内容を日々の実務の中で活かし、患者さんの運動習慣の向上に努めていきたいと思っております。



金隆志院長

川内基裕副院長

### 消防訓練 6月16日

消防訓練では職員が患者さんを想定し、避難誘導、シーツなどを利用した避難訓練を行いました。

訓練時には千葉市中央消防署の方に来ていただき、迅速な避難誘導の方法、水を注入した消火器で消火練習を行いながら消火について詳しくご指導いただきました。

災害時にも多くの患者さんの命をお預りしていることを考え、何があっても落ち着いて避難誘導しなければならないと改めて責任の重みを感じる訓練となりました。



### 「ベッドサイドの高次脳機能障害の診かたー失語と無視症候群ー」講演会 7月18日

千葉県立保健医療大学リハビリテーション学科作業療法学専攻長 高橋 伸佳 先生をお招きして、「ベッドサイドの高次脳機能障害の診かたー失語と無視症候群ー」について、ご講演いただきました。

脳卒中などで自分の話したいことを上手く言葉にできなくなるなどの失語症や、よく知っている場所や道で迷ってしまう障害など、脳の損傷部位によって様々な症状や障害が出てしまうことを、スライドを交えて詳細な説明をいただきました。

この講演会で学んだことを明日からの業務に活かしていきたいと思っております。

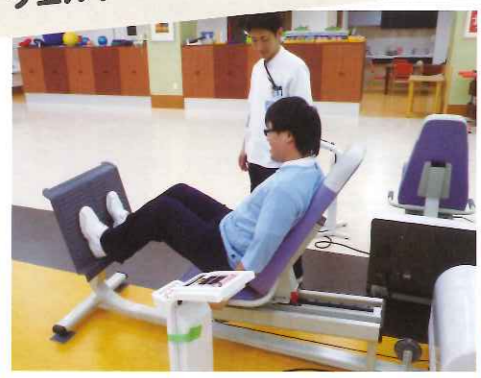


# リハビリテーション療法の紹介

～vol.1～



## ウェルトニック (Weltonic)



高齢者筋力向上用として、転倒予防・介護予防・自立支援を目的に、日本の高齢者の体格にあわせて開発されたトレーニングマシンです。日常生活に必要な筋力を安全かつ簡単に分析し、強化することができます。また、患者さんのトレーニングデータをカードに記録するシステムで、効率的な包括的運動トレーニングが可能です。

## アシストウォーカー (免荷装置付トレッドミル)



歩行障害がある患者さんに対して用いられる歩行訓練機器です。懸垂装置により、体重を部分的に免荷した状態で歩行訓練を行うことができます。筋力の低下や痛みがある患者様でも早期に安全な歩行訓練を実施することが可能です。

## キネシス (kinesis)



人間本来の自然な動きに対して負荷をかけることができるトレーニングマシンです。医学・人間工学の研究に基づく最先端のテクノロジーにより、運動初心者からアスリートまで目的に合わせた効果的なトレーニングが可能です。

## 運転シミュレーター



運転復帰に向けて評価、訓練をサポートする運転シミュレーターを導入しています。空間認知、注意力などの有無を確認し、運転能力の適正の目安に役立てています。また、運転の適性の評価だけでなく、自動車運転シミュレーターの結果をもとに、患者さんに応じたリハビリを行い、日常生活の質の向上を図ります。



エルゴメータ

▲ニューステップ



# 医療連携室ご案内

ごあいさつ

副院長 田中 朋美



4月1日に新規開設し、早4か月が経ちました。開院以来多くの方がすでに在宅復帰され、急性期病院→当院→住み慣れた地域・ご自宅へという流れも出来つつあります。今後も更に急性期病院ならびに地域生活期を支えて頂いている事業所の方々と連携も深めていき、患者さんが住み慣れたご自宅で生き生きと生活していけるように微力ながらお手伝いをさせていただければと思っています。

開院に際しまして各関係機関の皆様には大変お世話になりましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。回復期を担う医療機関として「リハビリするなら千葉みなと」と思ってもらえるよう日々研鑽し、質の高い安全なリハビリテーション医療を提供して参りますので、今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

リハビリに関することでお困りのことがございましたら、お気軽にご相談下さい。



前列左より  
小池 栄子(看護師長)、福家 未佳(看護師)、  
田中 朋美(副院長)  
後列左より  
笠原 ちか(事務)、星 雪乃(MSW)、  
近藤 なつみ(MSW)、長谷川 みか(MSW)

## 医療連携室の業務内容

私たち医療連携室は、患者さんの入院が安心・スムーズに行えるよう、また、患者さんが満足して退院されるよう、いつも「まごころ」を心掛けています。地域の医療機関との連携を更に深め、他医療機関からの患者さんのご紹介への対応や患者さんに代わっての転院先、医療・福祉施設や在宅医療・福祉サービス提供事業者への連携を主な業務としています。

## 入院退院についてのご相談

当院ご入院中の患者さんやご家族で、転院や在宅療養についてご不安や疑問のある方はお気軽にお尋ね下さい。ソーシャルワーカーがまごころを込めてお答えし、皆様の不安や悩みを解決し、バックアップいたします。また、医療保険制度や介護保険制度、障がい福祉制度などの各種制度についてのご質問もお気軽にお尋ね下さい。

医療相談窓口(1階受付)

医療連携室の業務時間 8:30～17:00(月～金曜日)

電話 043-441-7220 FAX 043-441-7238

担当は…

田中 (副院長)  
小池・福家 (看護師)  
近藤・星・長谷川(MSW)  
笠原 (事務)

# 巨樹の会グループ(14病院)最大の許可病床数297床!! 原宿リハビリテーション病院

## オープニング スタッフ募集

### ★正看護師(准看護師)

※正看護師(准看護師)としてご入職された方にお祝い金300,000円(税込)プレゼント!(規定有)  
医師・薬剤師・社会福祉士・看護助手 同時募集!

### お問い合わせ先

原宿リハビリテーション病院開設準備室  
東京都渋谷区神宮前6-26-1

(平成27年4月1日開設予定)

<http://www.harajuku-reha.com>

E-mail [furuno@shimoreha.jp](mailto:furuno@shimoreha.jp)



一般社団法人  
巨樹の会  
**原宿  
リハビリ  
テーション  
病院**

電話 03-3486-8333(直通) 採用担当者 古野 尚

原宿リハビリテーション病院

検索

## ホームページのご案内

病院の詳細内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。  
グループ病院ホームページにもリンクできます。

千葉みなとリハビリテーション病院

検索

<http://minato-reha.com/>



千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海 UMIKAZE 風 Vol.02

平成26年8月発行

企画  
発行所

千葉みなとリハビリテーション病院  
広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号  
TEL: 043-245-1555 / FAX: 043-245-1558



電車 千葉みなと駅(JR京葉線・千葉都市モノレール)より徒歩10分

バス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば「千葉みなとリハビリ病院下車」

NEW